

来てよかったね、また来たいね、南陵公民館

常滑市南陵公民館



南陵の森完成イメージ



日本みつばちプロジェクト

公民館の沿革・年表

- 昭和57年4月 開館
- 平成21年4月 指定管理者制度導入
- 平成26年度～ ロビー（ふれあいコーナー）を整備
- 平成27年度～ 元気モリモリプロジェクト
～「南陵の森」を整備～
- 日本みつばちプロジェクト
- 平成29年度～ Share Seeds Box（種の無料交換箱）

左図・写真の説明等など（PRポイントなども可）

（左の図）公民館の屋外にある未使用だった空を「南陵の森」としてどのようにしたいか、「元気モリモリプロジェクト実行委員会」で考えたもの。その後、実際に整備が進み、たくさんの方の交流の場になった。

（写真）日本みつばちが環境に与える影響や役割、飼育方法などの講習会を開催し、実際に公民館で日本みつばちを飼育することで、地域の自然環境に目が行くようになった。

1. 都道府県名	愛知県	3. 公民館対象人口	10402人	5. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN（Wi-Fi等）
2. 市区町村名	常滑市	4. 建物設置年月日	昭和57年4月1日	6. 来館者のインターネット接続最大端末数	10台
7. 運営主体	<input type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者（TRC・アクティオ・鹿島建物グループ） <input type="checkbox"/> その他（ ）				
8. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 53人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 12206人 <input type="checkbox"/> 講演会、展示会等 <input type="checkbox"/> その他（ ）				合計 12,259人
9. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 2人 <input checked="" type="checkbox"/> 兼任 1人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 2人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 （職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人 職員のうち社会教育士の数 0人） 合計 5人				
10. 予算	<input type="checkbox"/> 市区町村予算 <input checked="" type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他（ ）				
11. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他（ ）				
12. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input checked="" type="checkbox"/> その他（環境保全）				
13. 施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input type="checkbox"/> その他（ ） <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述（体育館、テニスコート等と一体の市民センターであり、公民館内に図書室もあり）				
14. 各種事業等で連携・協働している団体等（団体名記述）	<input type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 日本福祉大学ボランティアサークル、常滑市立図書館、常滑市役所				

常滑市南陵公民館

OPEN 9:00～21:00

H P <http://tokoname-nanryou.com>

T E L 0569-34-4748

SNS <https://www.instagram.com/nanryocommunitycenter/>





1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

- 少子高齢化及び人口減少が進んでいる地区で、公民館利用者も比例して高齢化が進み、かつ利用者が減少傾向にあった。
- 生涯学習内容の多様化が進む中、幅広いニーズに応えられていない。
- コミュニティの弱体化
- 施設の老朽化、厳しい財政状況

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【元気モリモリプロジェクト（防災、世代間交流、子どもの体験活動の充実）】

○活動内容

・参加者と協働し、公民館の屋外にある未使用だった空地「南陵の森」の活用

・野外活動設備の制作、設置

（予算に限りがあるため、制作に必要な材料は基本的にすべて廃材を利用）

○目指すもの

・災害時にライフラインが止まっても機能する公民館、防災に関する意識・知識の向上
 ・自然の循環が学べる日本一楽しい公民館、自然体験を通して子ども達の豊かな心を育む

・DIY作業をコミュニケーションツールとしたコミュニティ作り

・協働活動を通して、地域住民の「コミュニティ」を創出する。

・「南陵の森」が世代間をつなぎ、地域住民の交流の拠点となる。

【日本みつばちプロジェクト（環境保全）】

・日本みつばちの講習会（環境に与える影響や役割、飼育方法など）、巣箱づくり教室

・公民館で日本みつばちの飼育

【Share Seeds Box（種の無料交換箱）（環境保全）】

地元の在来種や固定種、伝統野菜の種を住民でシェア

<種を持っている人> 交換箱に種と種の説明を書いて置いていく。

<種が欲しい人> 種をくれた人に向けてありがとうカードを記入し、種を持っていく。

翌年種取りができれば、今度は種を置きに来る。

<種の交換ルール> 固定種・在来種に限る、F1種子の譲渡禁止、栽培を禁止されている種は置かない。



南陵の森完成！



種の無料交換箱

3. 取組による成果や効果

【元気モリモリプロジェクト】

○近隣大学のボランティアサークルが途中から積極的に参画

○「南陵の森」を整備するにつれ、保育園やデイサービス等、たくさんの方が遊びに来るようになった。

○「南陵の森」を利用した自主事業も展開した。（防災キャンプ、野外料理教室、ヨガ教室）

【日本みつばちプロジェクト】【種の無料交換箱】

○地域の自然環境に目が行くようになり、自然を次世代に残したいと考えるようになった。

○新たな世代間交流が生まれた。



防災キャンプ

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

○学校・社会教育・家庭教育の関係者及び学識経験者等11名で構成する公民館運営審議会を年間2回開催。その他、教育委員会定例会（随時）、社会教育委員会（年間2～3回）、学識経験者による教育行政執行状況の点検及び評価においても、公民館の現状や課題を報告するとともに、取組についての改善点等の意見を踏まえながら改善を行っており、PDCAを意識した公民館運営を行っている。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

地域資源をフル活用して「楽しい」をキーワードに地域住民をつなぎたい。公民館が生涯学習及びコミュニティ形成の核であるという強い信念が大切である。

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

令和3年度に、併設図書室の拡充、倉庫となっている部屋を学習室（オンライン対応）として整備することとしており、本やオンラインを活用した事業を展開し、新たな利用者層を増やしたい。